

戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）

電波有効利用促進型研究開発

プログラムの概要

# はじめに

戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE：  
Strategic Information and Communications R&D Promotion Programme）

## 電波有効利用促進型研究開発

- SCOPEのプログラムの一つ
- 電波の有効利用をより一層推進する観点から、新たなニーズに対応した無線技術をタイムリーに実現するため、電波の有効利用に資する先進的かつ独創的な研究開発を委託
- 電波利用料財源を用いて実施されるため、電波法第103条の2第4項第3号の規定に合致する研究開発であることが必要
- Beyond 5G研究開発促進事業など、電波利用料を用いて実施される他の研究開発制度等との切り分けが必要

# 電波有効利用促進型研究開発

## ● 対 象

大学、民間企業、研究開発法人、地方公共団体等の研究機関

## ● プログラムの概要

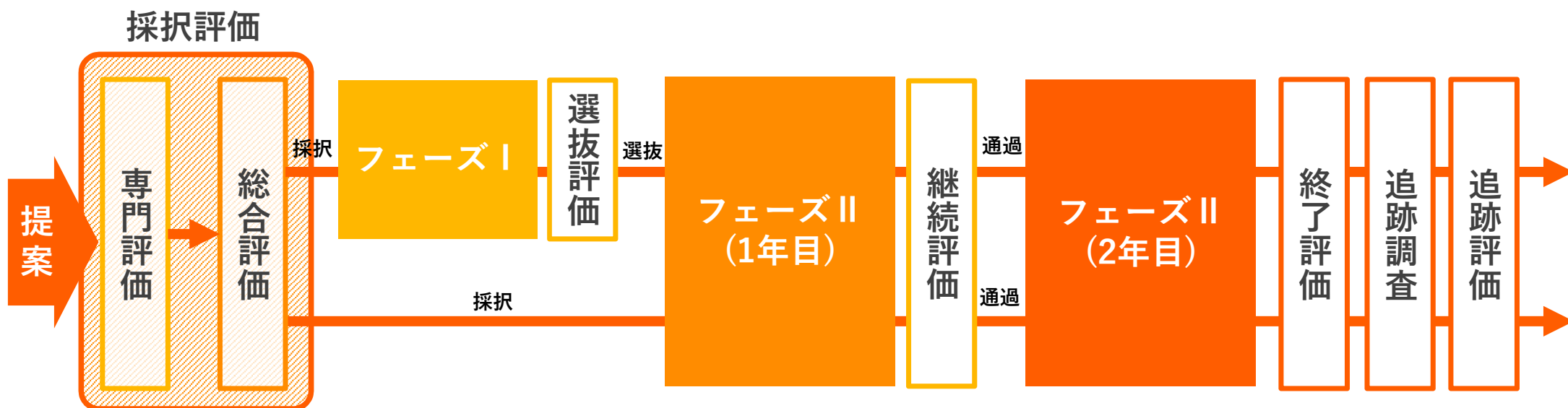
対象とする研究開発課題	年度当たりの最大 研究開発経費 (間接経費※込)	研究開発期間
【先進的電波有効利用型】 電波の有効利用に資する先進的かつ独創的な研究 開発課題	フェーズⅠ： 500万円 (間接経費込:650万円) フェーズⅡ：3,000万円 (間接経費込:3,900万円)	フェーズⅠ： 1か年 フェーズⅡ：最長2か年

※間接経費は直接経費の30%を上限として配分

## ● 令和4年度との違い

フェーズⅡ（社会展開促進型）は、**フェーズⅡに一本化**

# 採択から終了後までの流れ



- **採択評価**：新規課題公募への応募課題の中から採択する課題を決定するために実施する評価
- **選抜評価**：フェーズⅠで実施した予備実験、理論検討等の結果を基に、フェーズⅡにおいて優れた成果が得られるかどうかの実行可能性や実現可能性の検証等を実施し、フェーズⅡで本格的な研究開発を行う課題を決定するために実施する評価
- **継続評価**：実施中の課題のうち、翌年度も引き続き実施を計画している課題について、当該年度における研究開発の実施状況等の進捗及び成果を確認するとともに、次年度の実施計画等の適否を判断し、評価結果を次年度の適切な資源配分に反映させるために、年度内に実施する評価
- **終了評価**：研究開発期間全体を通して得られた研究開発成果について、研究開発が全て終了した時点において実施する評価
- **追跡評価**：研究開発終了後、一定の期間が経過してから、研究開発の直接の成果から生み出された効果・効用（アウトカム）や波及効果（インパクト）を確認し、その活用状況等を把握する評価

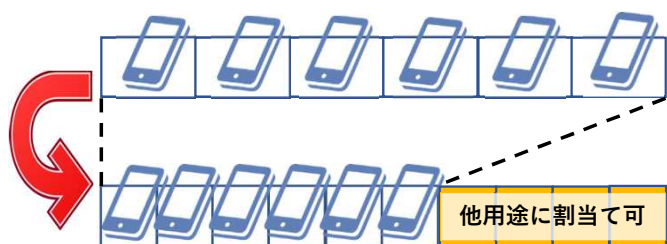
# 採択評価における評価の観点

プログラム名	評価の観点
先進的電波有効利用型	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 新しい電波利用の実現に向けた研究開発か。</li><li>○ <u>以下のいずれかの技術</u>であって、<u>おおむね5年以内に開発される技術</u>として到達目標が明確に設定されているか。<ul style="list-style-type: none"><li>・ 周波数を効率的に利用するための技術</li><li>・ 周波数の共同利用を促進するための技術</li><li>・ 高い周波数への移行を促進するための技術</li></ul></li></ul>

# 電波の有効利用に資する技術とは

次の3つの技術が該当。

## 周波数を効率的に利用する技術



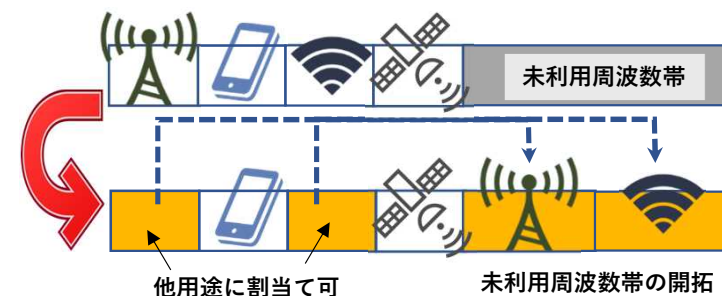
現在割り当てられている無線システムに必要な周波数帯域を圧縮することにより、電波の効率的な利用を図る技術

## 周波数の共同利用を促進する技術



電波が稠密に使われている周波数帯において、既存無線システムに影響を及ぼすことなく、周波数の共用を可能とする技術

## 高い周波数への移行を促進する技術



6GHz以下の周波数のひっ迫状況を低減するため、比較的ひっ迫の程度が低いミリ波帯やテラヘルツ帯（30GHz～）等へ移行するための技術

なお、次のようなものは、「電波の有効利用に資する技術の研究開発」には該当しない。

<例>

- 3THz（3000GHz）を超える周波数帯を扱う研究開発（電波法第2条第1項第1号（＝電波の定義）を参照）
- 従来、無線通信システムで行われていた通信を有線通信システムに移行させるために必要な技術の研究開発
- 無線通信システムを利用して実現されるサービス（アプリケーション）の研究開発
- 無線通信システムで利用される受信端末の研究開発

# これまでの採択状況

プログラム名	令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	提案	採択	提案	採択	提案	採択	提案	採択	提案	採択
先進的電波有効利用型	26	13	34	18	16	8	27	19	34	8
フェーズⅠ	19	11	22	13	11	5	23	17	22	5
フェーズⅡ	1	1	2	0	2	1	1	1	4	1
フェーズⅡ(社会展開促進)	6	1	10	5	3	2	3	1	8	2